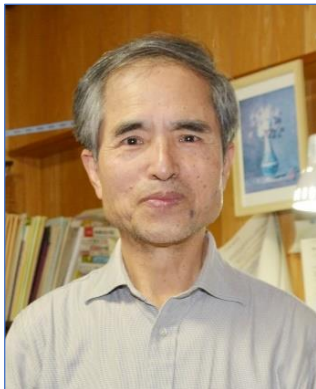


全通研 Web アカデミー 2023年度 第2回

★会員向け

「手話・手話通訳と基本的人権との関係」



■講師プロフィール

1967-70年、京都府立聾学校教諭。その間、京都の手話学習会『みみずく』に参加、1968年に福島・会津磐梯で開催された第1回全国手話通訳者会議に出席。

その後、憲法学研究を志して、大学院に。南山大学・愛知大学法科大学院教授を2011年に定年で退職、現在、沖縄大学客員教授・法学博士、弁護士。

憲法学者としていくつかの研究テーマに取り組む中で、手話、また手話通訳の問題、とくに手話の言語としての権利性について深めたいと考えている。

講師 **小林 武 氏** 沖縄大学客員教授

■ 2024年1月27日(土) *無料

■ 13:30~15:30 / Zoom

■ 申込締切 2024年1月22日(月)



こちらのQRコードからもお申込みできます。↑

■講演資料

当日の3日前をめどに、当会ホームページ内「会員専用ページ」→「Web学習会ページ」に掲載します。

*ご自身でダウンロードしてください。

■お問合せ先

(一社)全国手話通訳問題研究会

TEL 075-451-4743

FAX 075-451-3281

E-Mail: NRASLI@zentsuken.net

<申込方法>

全通研ホームページ内にある申込フォームから、または下記URLから、お申込みください。

https://www.zentsuken.net/academy23_2

*複数で視聴する場合は、代表者1名が申込を行い、「その他」欄にて参加者数と参加者氏名をお知らせください。

~小林武氏から講演に向けたメッセージ~

はじめまして。私が手話に出会ったのは1967年のことですから、今日ご参会の皆さんは多くがお生まれになる前で、初対面かと思います。

私は、手話をまったく知らないまま聾学校の教師になりました。授業どころか、生徒が何を訴えているのかまったく分からない状態で、必死に——文字どおり必死になって——手話を身につけました。その過程で、手話の言語としての豊かさに魅せられもしました。

通訳活動をとおして、ろうあ者の生活と権利が保障されるには問題が山のようにあることを知り、法律家(弁護士)になろうとしたのですが、学者の道に進みました。その立場から、今も、ろうあ者問題、また手話の権利性を研究テーマの一つにしています。

志を抱いた皆さんのご活躍に、心から期待します。これからよろしくお願ひします。